

# HOLON

CND機関紙  
ホロン

Vol.135

発行日 2013年5月22日

02 CND Action!

国会・政治の体験レポート 「政策・制度」研修会

04 HOLON特集

組合員の声が職場の労働環境を変えた!  
「BTS活動」具体的事例紹介

06 時事ネタPICK UP

レアメタルについて知ろう!

07 HOLONプラス

これだけは知っておきたい制度  
「出産・育児」

08 組織内議員の活動紹介

着ばいす  
HOLONクイズ



ご自宅に持ち帰り  
みなさんで  
ご覧ください!



Challenge for  
New  
Development

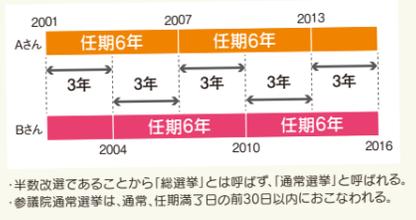
Work LIFE BALANCE



# 参議院議員選挙のしくみを理解し、投票に行こう!

参議院議員の任期は6年。選挙は必ず3年ごとに議員定数の半数を改選します。

参議院通常選挙は、必ず3年に1回おこなわれます。これは、憲法第46条で「参議院議員の任期は6年とし、3年毎に議員の半数を改選する。」と定められているためです。参議院議員は2つのグループに分かれていて、任期が3年ずれています。参議院議員定数は242名で、選挙ではその半数の121名を選ぶこととなるため、選挙区73議席と比例代表48議席に分かれます。(選挙区は各都道府県に1つ置かれる。比例代表は全国統一でおこなう。)



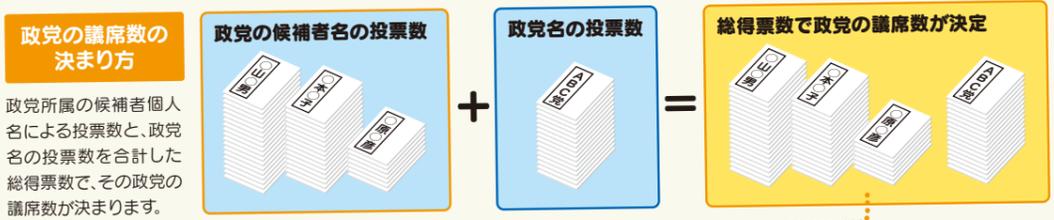
## 参議院議員選挙は2種類

投票は、選挙区と比例代表の2つが同時に行われます。



## 比例代表選挙のしくみを理解しよう!

参議院の比例代表選挙は、政党の総得票数に応じて各政党の議席数が決定し、**候補者個人名での投票数の多い順に当選が決まります。**



「候補者個人名」を書くことで「当選させたい候補者」を応援できる!

このように比例代表選挙は、**候補者個人名での投票数の多い順に当選者が決まります。**これは、候補者個人名を書くことで、あなたが「当選させたい候補者」を選ぶことができるということです。

**参議院議員選挙のしくみをよく理解して、必ず投票に行きましょう!**

国会・政治の体験レポート



# 政策・制度

## 研修会

CNDでは、組合役員を対象に政策・制度研修会を開催しています。この研修会は毎年、年4回開催し全国の各組合役員が参加しています。今回は、政策・制度活動について幅広く見識を深める内容の研修会を執行委員になったばかりのトヨタさんが紹介していきます。

政策・制度活動は正直、少し抵抗感があるし、政治家って偉そうなイメージがあつて苦手だな...



新執行委員 トヨタさん

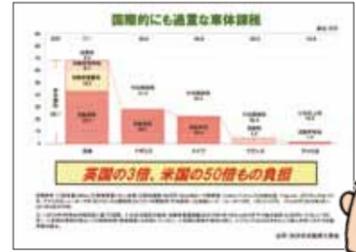
### 1 労働組合が政策・制度活動に取り組む意義について

パワーポイントで詳しい説明がありました。労働組合が「政策・制度」に取り組むのは、【私たち働く者の代表を政治の場に送り出し、私たちの思い(公正な社会・住みよい街づくり)を実現する]ためなんだ。



### 2 自動車関係諸税の取り組みについて

日本の自動車関連の税負担はアメリカに比べて50倍も多く負担しているんだ。自動車関連の税は9種類もあつて自動車ユーザーだけが重い税負担を強いられていることが分かりました。僕たちを含む自動車ユーザーのためにも抜本的に見直さないといけないね。



### 3 みんなでグループ討議

他組合の組合役員と意見や情報の交換ができました。自動車関係諸税の抜本的見直し等の実現のためには、自動車産業の代表を国会の場に送ることが非常に大事なことに気づかされました。また、他組合の活動や執行委員の悩みなども聞いてよかったです。



### 4 国政報告

組織内議員の直嶋参議院議員と初めてお会いしました。現在、国会で審議されている議案や日本の抱える問題やその対応策について講義いただきました。思っていたより、話しやすい人よかったです。



### 5 国会議事堂見学

本会議場、御休所、皇族室や中央広間などを見学しました。写真撮影は禁止のため中の様子を紹介できないのが残念。国会の見学は参議院のホームページから問い合わせることができます。興味のある方は見てみてね。



### 7 参議院議員会館見学

新しくなった参議院議員会館のなかの直嶋参議院議員の事務所を見学しました。直嶋参議院議員が普段活動を行っている様子が分かり、議員を身近に感じることができました。参議院議員会館は、老朽化が進んでいたことやセキュリティの問題・高度情報化対策などの対応のため2010年から新しくなりました。議員一人あたりの割り当て面積は旧議員会館から比べて2.5倍に増えたそうです。



私たちが政治にかかわることに最初は抵抗感があつたのも事実。今回の研修会で、なぜ政策・制度活動に取り組むのか理解できました。組合の役員としてしっかり組合員にも伝えていかなければいけないなと感じた研修でした。7月に予定されている参議院議員選挙は、私たち一人ひとりが責任をもって投票しないといけないんだね。



旭川トヨタ  
労働  
の取り組み

テーマ

## 労働災害の未然防止に向けて



### ① 労働組合による職場オルグのなかでサービス工場の設備について不安の声があがった

- サービス工場で長年使用しているリフトを作動させると、時々異音が出たり、動きが悪いことがあり、危険だと感じる。
- 工場内のコンクリート地面に凹凸があるため、つまずくことがあり不安を感じることもある。



サービス工場内の凹凸しているコンクリート製の地面  
老朽化による錆と異音が発生しているリフト

### ② 執行委員会のなかで検討

- 社員が安心して働ける職場環境をつくっていくことが重要であり、今回の事案は労働災害につながる可能性もあり、早急に対応することが必要であると判断。他の店舗の状況も把握する必要があるため、以下の対応を行った。
- 危険箇所の有無や状況を把握するため、各店舗にヒアリングを行うとともに、組合執行部が職場に出向き視察。
  - 危険箇所の状態を会社にも認識してもらうため、写真撮影を実施。



労働組合と職場のみなさんとのコミュニケーション活動の様子  
職場とのコミュニケーションツール

### ③ 会社への提言

- 設備の老朽化などによって危険であると不安を感じながら作業しているサービスエンジニアがいることを会社に伝える。
- 早急に対処が必要な老朽箇所の写真を会社と共有し、改善の必要性を伝える。
- CND加盟組合のサービス工場で起きた過去の災害事例を伝え、職場の安心と安全を確保するため早急の対処を訴える。

### ④ 会社の対応

- 会社としても同様の認識があり、下記の対応を行った。

全店舗のサービス工場の設備などを点検し、危険度(老朽度)別に仕分けしたリストを作成

早急に対策が必要な箇所(危険度・老朽度)に応じて、設備機材の入れ替え・修繕を実施

### ⑤ 職場の反応

- 職場からは「労働災害の未然防止に関わる点検や設備機材の入れ替え・修繕の実施に至ったことは、職場で働く私たちの声が会社に届いていると実感できた」「安心して仕事ができる」などの声を聞くことができた。



安全についての点検や設備機材の入れ替えにより、職場での安全に対する意識も向上!

まとめ

今回、紹介した二つの事例は組合員の声をもとに会社へ前向きな提言を行った結果、労使で改善に向けた取り組みが実現できた事例です。今後の厳しい環境を乗り越えるためにも、職場の一体感を高め、拠点単位での「職場力」を向上させていくことが重要であり、そのためには「BTS活動」が必要であると考えます。

組合員のみなさんも、働く意欲・活力を阻害している課題はないか? 改善するためにはどうすれば良いのか? 生産性やCSの向上につながるためにどうすれば良いのか? を考えていかなければなりません。労働組合では、組合員が絞り出した前向きな知恵や工夫を経営に提言していく「BTS活動」を今後も積極的に行っていきます。

組合員の声が職場の労働環境を変えた!

## BTS活動 具体的事例紹介

CNDでは、第12期より活動の柱の一つとして、組織力の強化と職場力の向上を目指し、「BTS活動」を展開しています。「BTS活動」とは、「職場とのコミュニケーション活動」を通じ、組合員一人ひとりの働く意欲・活力を阻害する要因や生産性・CSの向上につながる前向きな知恵や工夫などを職場の組合員から吸い上げ、経営へ提言し、改善に取り組むことです。今回は、「BTS活動」を通じ、実際に労働条件や職場の環境が改善できた事例を紹介していきます。

トヨタ  
カーロー  
兵衛労働  
の取り組み

## 仕事と育児の両立実現に向けて、 短時間勤務制度の期間延長

### ① 育児短時間勤務制度についての相談が入る

- 現在、2歳の子どもを保育所に預けていて、夕方18時に迎えにいかねばならないため、育児短時間勤務制度を利用し、通常の終業時刻より1時間早く業務を終了している。
- 子どもが来年3歳になれば、短時間勤務制度が利用できなくなってしまう。
- 近隣の保育所では、時間延長保育を行っているところがなく、通常の終業時刻からでは子どもを迎えに行くことができない。



### ② 執行委員会のなかで検討

#### 【育児・介護休業法の法律を確認】

法律では、3歳未満の子どもを養育する親に対して短時間勤務制度の導入を義務付けている。努力義務として小学校入学までの短時間勤務制度導入を推奨している。

#### 【3歳未満の子どもを持つ女性全員にヒアリング】

ヒアリングの結果、同様の悩みを抱えており、改善の要望が多かった。

#### 対応しないことで考えられるリスク

- ・会社としての人材損失  
一人だけの問題ではなく、同様の問題を抱える組合員は退職することになり、会社として大事な人材を失うことになる。
- ・働く人のモチベーションの低下  
組合員が安心して働ける職場でないため、従業員満足度(ES)および家族満足度(FS)の低下につながり、組合員の働くモチベーションの低下につながる。

組合員の生活はもとより、会社にとっても大きな損失を被ることにつながる

#### 労働条件の改善に取り組むことで

- ・人材確保  
育児短時間勤務制度の取得期間を延長することで、大切な人材を失わなくて済む。
- ・職場環境の向上  
就業時間内に業務を終えることで、本人だけでなく周りの人にも時間を意識した働き方につながる。また、働きやすい職場になることで、従業員満足度(ES)、家族満足度(FS)が向上し、結果としてお客さま満足度(CS)にもつながっていく。

組合員のみならず、会社にとっても有益

### ③ 検討の結果

今回の件は、女性営業スタッフがが増えている現状を考えると個別事案にとどまらず今後同様の相談が入ることが想定される。働きやすい職場環境づくりをすることによって、組合員のみならず、会社にとっても有益なものになる取り組みであると判断。小学校入学まで短時間勤務制度の延長を会社に申し入れる。

### ④ 労使協議会で検討

- 執行委員会での検討内容を基に、労使協議会のなかで検討

会社も女性組合員の声と組合の考えに同意し、就業規則も改定し、労使協定を結ぶ



就業規則を改定し、4月1日より小学校入学までの短時間勤務制度を導入が決定!

# 「出産・育児」



日本の出生率は年々減少し、少子化傾向となっています。

少子化の背景には、仕事と子育てを両立できる環境が十分に整っていないことや、日本経済の低迷からくる先行き不透明感により、結婚後や出産後に安心した生活ができないという理由も原因の一つと考えられます。

これから子育てする方や現在、子育て中の方の不安感をすこしでも少なくするため、国や各自治体では、出産・育児や教育についてもいろいろな支援制度を設けています。今回のHOLONプラスでは、その一部を紹介します。

## 【妊娠したときに知っておきたいこと】

### ● 妊婦検診費の助成

妊婦の健康ぐあいや、お腹の赤ちゃんの育ちぐあいをみるため、身体測定や血液・血圧・尿などの検査にかかる費用に対して助成があります。助成額は各自治体によって異なり、一部または全額の助成が受けられます。

### ● 出産育児一時金

1人の赤ちゃんにつき42万円(産科補償医療制度に加入していない場合は39万円)が支給されます。双子の場合は2人分の84万円になります。健康保険組合や一部の自治体では、給付金がプラスされることもあります。

### ● 出産手当金

健康保険加入者が出産のため会社を休み、給料が受けられないときに出産手当金が支給されます。支給額は日給の3分の2相当額です。支給期間は出産日以前42日、出産日後56日です。会社から給料が出ている場合でも、3分の2未満の場合は差額が支給されます。



## 【医療にかかわる制度】

### ● 乳幼児医療費助成

乳幼児は頻りに病気になったり、思わぬケガをしたりと、病院への通院の機会も多く、医療費も多くがちなります。健康保険に加入している子どもは、かかった医療費の一部または全額が無料になります(年齢や金額は自治体によって異なります)。

### ● 高額医療費制度

妊娠・出産は病気ではないため健康保険の適用外なのですが、合併症や異常分娩となると保険の対象になります。「自己負担限度額」を超える負担になった場合は、高額医療費の払い戻しを受けることができます。

### 高額医療費制度の自己負担限度額

**8万100円+(医療費-26万7000円)×1%**  
(所得によって異なります)

例)医療費が100万円かかった場合  
8万100円+(100万円-26万7000円)×1%=8万7430円  
⇒40万円を病院に支払った場合は、31万2570円が戻ります。つまり、負担は8万7450円で済むことになります。

## 【育児のときに知っておきたいこと】

### ● 児童手当

0歳から中学生までの子どもを教育している人に支給されます。

- 3歳未満は月額1万5000円
- 3歳~小学校終了前の第1子・第2子は月額1万円。第3子以降は月額1万5000円
- 中学生は月額1万円(所得水準によって制限あり)



支給 2月、6月、10月の年3回でそれぞれ4か月分を支給されます。

### ● 育児休業給付金

雇用保険の被保険者が原則1歳未満の子どもを教育するために育児休業を取得した場合に支給されます。支給額は、給料の2分の1相当額ですが、会社から給料が出るときは、給料と育児休業給付金を併せた額が給料の8割を超えた分が減額されます。

### ● 児童扶養手当

父母の離婚などで「ひとり親家庭」になった場合に支給されます。対象年齢は18歳に到達後、最初の3月31日までの間にある児童です。(遺族年金など公的年金を受け取っている場合は支給されません。なお、両親がいても父または母が一定の障害状態にあるときは、支給される場合があります。

## 【出産や育児後、働きたいと考えている方に】

### ● 失業給付受給期間の延長

妊娠、出産を理由に退職した場合、失業給付金を受け取ることができません。出産や育児で一段落したら給付金をもらいながら就職活動ができるように失業給付金の受給を最長4年まで延長できる特例措置が設けられています。



また、上記の制度以外にも自治体によっては、独自の出産支援制度と、子育て支援制度に力を入れているところがあります。みなさんも、住んでいる自治体にどんな子育て支援サービスがあるのか、一度調べてみてくださいね!

## 時事ネタ PICK UP

—【第二回】—

# レアメタルについて知ろう!



最近ニュースなどで見聞きすることが多くなった「レアメタル」。自動車に関わる人であれば知っていても、具体的な内容はよく分からないという方も多いのではないのでしょうか? 今回のHOLONでは「レアメタル」の一部について紹介します。

### 自動車、特に次世代カーに

自動車を製造するにあたり、レアメタルはなくてはならないものになっていきます。これまでもエンジンの点火プラグやマフラーの触媒には多数のレアメタルが使われていま

### 【主なレアメタル】

リチウム[Li]/ベリリウム[Be]/ホウ素[B]/希土類(レアアース17種類)/チタン[Ti]/バナジウム[V]/クロム[Cr]/マンガン[Mn]/コバルト[Co]/ニッケル[Ni]/ガリウム[Ga]/ゲルマニウム[Ge]/セレン[Se]/ルビジウム[Rb]/ストロンチウム[Sr]/ジルコニウム[Zr]/ニオブ[Nb]/モリブデン[Mo]/パラジウム[Pd]/インジウム[In]/アンチモン[Sb]/テルル[Te]/セシウム[Cs]/バリウム[Ba]/ハフニウム[Hf]/タンタル[Ta]/タングステン[W]/レニウム[Re]/白金[Pt]/タリウム[Tl]/ビスマス[Bi]

レアメタルとは 金属は、生産・消費量の観点から、ベースメタルとレアメタルに分けられます。ベースメタルは鉄や銅、亜鉛、鉛、アルミニウムなど、生産量が多いのが特徴です。一方、レアメタルは、「地球上の存在量が稀であるか、技術的・経済的な理由で抽出困難な金属のうち、工業用の需要があり今後も需要があるもの」とされています。レアアースの17種を含む47種の元素をレアメタルに指定していますが、自然界に存在する元素が89種類ですから、半分以上の元素がレアメタルとなっています。

### 【主要な自動車用途のレアメタル】

ガソリン・ディーゼル車	レアメタル	レアアース	ベースメタル
難燃剤	Sb	Ni	Dy, Cu
工具(製造)	W, Mo	Mo, Mg	Nd
特殊鋼	Cr, Mn, Nb	Pt, Ce, La	Ni, Mm, Li, Y, Co, Al
鋼板・鋼管		Pd, Zr, Rh	Ni, Al, Li, Cu, Co
排気触媒			
			ニッケル水素電池
			Liイオン電池

資源枯渇のリスク  
資源も消費を続けていけば、いずれは枯渇します。ある試算によると、2050年までに多くの種類のレアメタルを含む金属が現在ある埋蔵量ではまかないきれなくなる恐れが出てきています。

資源偏在のリスク  
資源の偏在とは、産出面からみた偏在で、レアメタルの多くが現在分かつている埋蔵量の半分以上を上位3カ国で占められています。例えば、レアメタルのバナジウムをみると中国、南アフリカ、ロシアの3カ国で98%を占めます。これらの国の政策、経済情勢、政情不安などによって、安定供給が困難になる可能性があります。

資源供給のリスク  
BRICsなどの発展途上国の急速な経済発展や、地球温暖化などの環境問題対策のための技術開発に対する需要増加によってレアメタルが供給不足に陥り、社会不安を招く恐れがあります。

レアメタルは自動車産業のなかで非常に重要な役割を担っていますが、見方を変えれば、その資源を巡って何らかの問題が生じたときに、自動車産業や私たちの生活に大きな影響をおよぼす「リスク」にもなり得ます。

レアメタル問題【3つのリスク】  
レアメタルは自動車産業のなかで非常に重要な役割を担っていますが、見方を変えれば、その資源を巡って何らかの問題が生じたときに、自動車産業や私たちの生活に大きな影響をおよぼす「リスク」にもなり得ます。

【都市鉱山とは】  
リサイクル概念で、蓄積された工業製品を資源とみなして、そこから積極的に取り出すことを試みる概念です。具体的には、携帯電話など電子機器内の基盤にはさまざまな部品が存在し、多くのレアアースが使用されています。計算によると、日本に蓄積された都市鉱山には、現在分かっている世界の埋蔵量の10%以上のレアメタルなどの金属があることが分かりました。

レアメタルなどの天然資源に乏しい日本にとって都市鉱山開発は大きな可能性を持ち、重要な課題になってきています。使用済み携帯電話や小型電子機器、自動車部品などをリサイクルして活用していくことは、自動車業界で働く者という観点と、日本のみならず地球に住む人の責任として真剣に考えなければなりません。

日本には、レアメタルの資源がほとんどありませんが、世界の消費量の約半分を占めているといわれています。また、その大半がハイテク分野での利用ですが、ハイテクを駆使した加工製品の輸出国である日本にとって資源調達は生命線であり、リサイクルを含めた資源の有効活用を真剣に考えなければなりません。

